

Veneno Technologies(株)

(茨城県つくば市, CEO 吉川 寿徳)

2020年7月9日設立、2023年5月 AISolスタートアップ 第1号認定

毒液由来のユニークなペプチド「DRP」と産総研の機能性ペプチド探索技術の活用による次世代ペプチド医薬品・バイオ農薬の開発

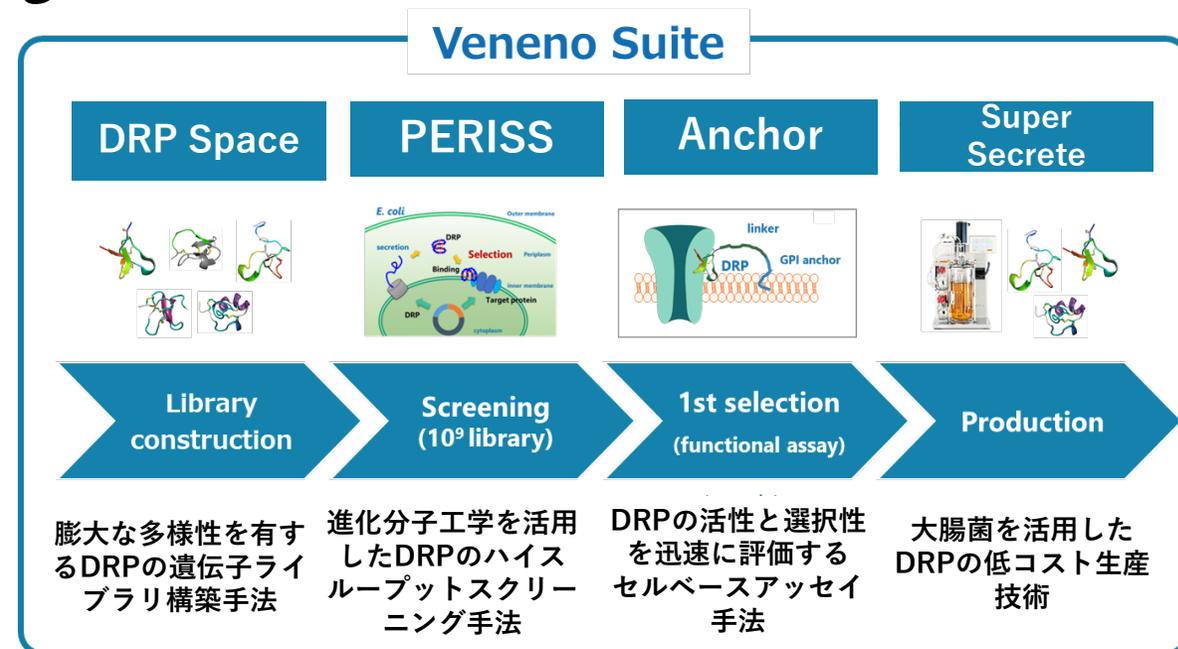
主な技術・製品：

#次世代創薬モダリティを用いた新たな創薬手段の提供

次世代の創薬モダリティである DRPに着目し、DRPのライブラリ作製からスクリーニング、生産までをサポートする新規DRP創製のためのプラットフォーム技術 *Veneno Suite*で膜タンパク質をターゲットとしたDRP医薬品/農薬の開発を加速します。

産総研でのタランチュラ毒DRP技術の研究を基にした創薬プラットフォームを事業化し、現在は産総研と共同にてAIを用いたDRP高機能化のための研究を行っています。

DRP (Disulfide-Rich Peptide): 20-80アミノ酸残基から成るペプチドで分子内に3つ以上のジスルフィド結合を有し、堅固な分子構造を持つことを特徴とします。DRPはヒトも含め広く様々な生物に見られ、動物の毒液中の主要成分としても利用されている生理活性ペプチドです。特にイオンチャネルやGPCRなどの膜タンパク質に対する優れた天然の制御分子の宝庫で、高い生物活性と選択性、優れた分子安定性 (pH、熱、酵素) により、次世代の創薬モダリティとして近年注目を集めています。



2024年1月時点

AIST Solutions スタートアップ部 <https://www.aist-solutions.co.jp/>